

「ボランティアとの協力」

- ★ 避難所の活動に関して支援が必要な場合は、各区のボランティアセンターにボランティアの派遣を依頼します。
- ★ 以下の要領で、ボランティアの受入れ・管理を実施します。（シートLは1枚です。）

1 一般的なボランティアについて

チェック

☐

区の「災害ボランティアセンター」の開設状況を確認します。

- * 「災害ボランティアセンター」は災害の規模などから必要に応じて開設されますので、区災害対策本部から、開設状況や場所・連絡先の情報を収集しておきましょう。

チェック → 継続

☐

避難所の各活動において、人手が足りない場合などに、区の「災害ボランティアセンター」にボランティアの派遣を依頼します。

- * 避難者の協力のできる活動は、避難者が協力して実施しましょう。

※裏面の「一般ボランティア概要」を参照

チェック → 継続

☐

ボランティアを受け入れる場合は、運営委員会が中心となって活動内容の説明や、ボランティアの活動管理を行います。

- * どのような活動にボランティアが必要か、どの位の人数が必要かなど、あらかじめ避難所運営委員会で検討してから要請しましょう。

2 専門的なボランティアについて

避難所担当職員

チェック → 継続

☐

専門的知識の必要なボランティアについて、派遣状況を確認します。

- * 専門ボランティアは、ボランティアの集合状況などにより、必ず派遣できるとは限りません。区災害対策本部への連絡時に、避難所担当職員が随時情報収集してください。

※裏面の「専門ボランティア例」を参照

チェック → 継続

☐

専門的なボランティアの派遣については、避難所運営委員会で協議の上、区災害対策本部に派遣を要請します。

- * 専門ボランティアの派遣については、調整が必要になりますので、避難所に派遣可能かどうかを区災害対策本部に確認した上で、十分に協議して決定してください。

シートLは1枚で終了です。上記に留意して、避難所閉鎖まで継続してください。

災害ボランティアセンターと一般ボランティアの概要

ボランティアセンターの開設	仙台市社会福祉協議会が中心となり、必要と認められる状況であれば、概ね３日以内を目途に予定された施設に開設します。
一般ボランティアの派遣時間帯	原則は日中で、危険を伴う作業には従事させられません。
一般ボランティアの活動例	物資の運搬・仕分け、炊き出し、食料・飲料水配付、片付け支援、清掃補助、高齢者や子供の支援など。 (専門的な知識が必要な活動以外で、可能な活動の支援)

* ボランティアは有志の集まりで、人数やできることに制限があります。

災害ボランティアセンターの開設予定施設

地 区	予定施設(優先順位1)	予定施設(優先順位2)
市本部	仙台市福祉プラザ	仙台市市民活動サポートセンター
青葉区	せんだいメディアテーク	青葉体育館
宮城地区	広瀬文化センター、広瀬市民センター	落合市民センター
宮城野区	宮城野体育館	榴ヶ岡市民センター、榴岡公園
若林区	若林区文化センター、中央市民センター	若林体育館
太白区	仙台市体育館	太白区文化センター、中央市民センター
秋保地区	秋保市民センター	湯元市民センター
泉区	七北田公園体育館	泉文化創造センター（イズミティ21）
各地区	市民センター又はコミュニティセンター	

* 建物被害や避難者の有無などで、変更となる可能性がありますので、情報収集しましょう。

専門ボランティアの種類（例）

専門ボランティアの例	主 な 対 応 内 容
仙台市災害時言語ボランティア (調整:市民局)	・主に仙台市災害多言語支援センター等において、翻訳・通訳など、外国人に対する支援を行うボランティアです。 ・仙台市災害多言語支援センターを窓口とし、派遣調整を行います。
障害者災害時ボランティア (調整:健康福祉局)	・避難所等において、要介助障害者に対し、必要な情報提供や生活の援助などを行うボランティアです。 ・仙台市障害者福祉協会を窓口とし、派遣の調整を行います。
医療ボランティア (調整:健康福祉局)	・救護所や医療機関で医療救護活動を実施したり、必要とされる場所で医療活動にあたるボランティアです。 ・災害時医療連絡調整本部に、医療ボランティアの窓口を設け派遣の調整を行います。
被災建築物応急危険度判定士 (調整:都市整備局)	・被災建物について、応急的に危険度を確認する方です。 ・宮城県建築物等地震対策推進協議会を窓口としています。 ・市では、被災建築物応急危険度判定士の派遣要請を行います。

* 派遣の可否などは状況により変化します。区災害対策本部と事前に検討しましょう。